

# 八丈やろごんプロジェクト

## 【地域の背景】『八丈町の基本構想基本計画』

- ・地域主権改革・地方分権改革による、自己決定と自己責任による自治体運営が求められ、基礎自治体としての行財政基盤の確立が必要
- ・東日本大震災や伊豆大島土砂災害による、防災、減災に関する住民意識の高揚
- ・まち・ひと・しごと創生法案の流れによる、人口減少問題への対応と地域活性は重要な課題

島の豊富な資源（自然歴史文化産業）を活用した探究学習を通して生徒のキャリア教育を推進する

## 【生徒の背景】

- ・生徒の学力が多様であり、卒業後の進路も多様
- ・協調性があり、まじめで素直な生徒が多いものの、目標に向かって切磋琢磨し主体的に行動することが不得意な生徒も存在

## 【学校の背景】

- ・全日制課程の普通科・園芸科・家政科、定時制課程を設置する八丈島で唯一の高校
- ・島の人口減に伴って生徒数も減少

### 『事業運営への助言』

東京都教育委員会  
産業技術大学院大学

### 『地域人材の紹介』

八丈町企画財政課  
八丈町観光協会

### 『事業広報』

八丈町役場「広報はちじょう」  
八丈支庁「支庁の風」、チーム八丈（twitter）

島に戻ってきて  
島を支える生徒  
島の外から島の良さを  
発信して島を支える生徒

## コンソーシアム

管理：八高、地域協働学習支援員

### 『授業専門領域補助』

八丈町教育委員会  
エコツアーガイド協会  
ビジターセンター  
よされ会

『カリキュラム・  
授業実践への助言』  
カリキュラム開発等専門家  
文教大学

## 『令和2年度の目標』

- ①効果的な授業実践 ②コンソーシアムの運営 ③校内体制の確立

3年間の目標(共通言語)

気づく・深める・伝える

## 『取組状況と成果』

### ①「八文学Ⅰ」の実践

- ・地域の資源を活用した地域の暦（フェノロジーカレンダー）の作成
- ・オンライン授業の開発、大学との連携授業（文教大学）、交流発表会（立川高校、羽村市立小作台小、他） →島ではできなかった交流を通して、生徒の意識が大きく変化

### ②コンソーシアム協議会の運営

- ・コンソーシアムの在り方について、カリキュラム開発等専門家と協議  
→島民と共に教育を考える場としての、コンソーシアム協議会の活用  
教育への島民の理解、八丈島についての教員の理解の深化

3月協議会

島の課題について  
情報共有

7月協議会

育てるべき生徒像  
協議

12月協議会

『島民会議』  
の打ち合わせ

『島民会議』

島の課題について、  
全島民で考える会議

### ③新教育課程編成を含めた校内体制の確立

- ・「グランドデザイン」に地域の声の反映と、地域協働や探究学習についての位置付け
- ・地域協働事業について ①運営担当、②授業開発担当で業務分担
- ・授業に全教員が見学、何らかの形で事業に関わることで、地域協働に対する理解の深化  
→地域についての学びを授業で扱う『教科等横断的な授業』の開発

## 『今後の課題』

### ①カリキュラム開発

- ・「八文学Ⅱ・八文学Ⅲ」の授業の開発
- ・「島民会議」の実施
- ・「気づく・深める・伝える」を基礎とした探究的な学びの教科等横断的な実践
- ・「オンライン発表会」の実施
- ・学習成果物の島内、島外への発信

### ②コンソーシアムの運営と連携強化

- ・地域の資源を活用することで、教育活動の一層の発展
- ・探究的な学びを基礎学力の向上と関連付けることによる教科学習の充実

### ③校内体制の確立

- ・普通科・家政科・園芸科・定時制・分教室、5つの連携を生かしたキャリア教育の推進
- ・普通科・家政科・園芸科合同発表会の実施
- ・連携学習の開発